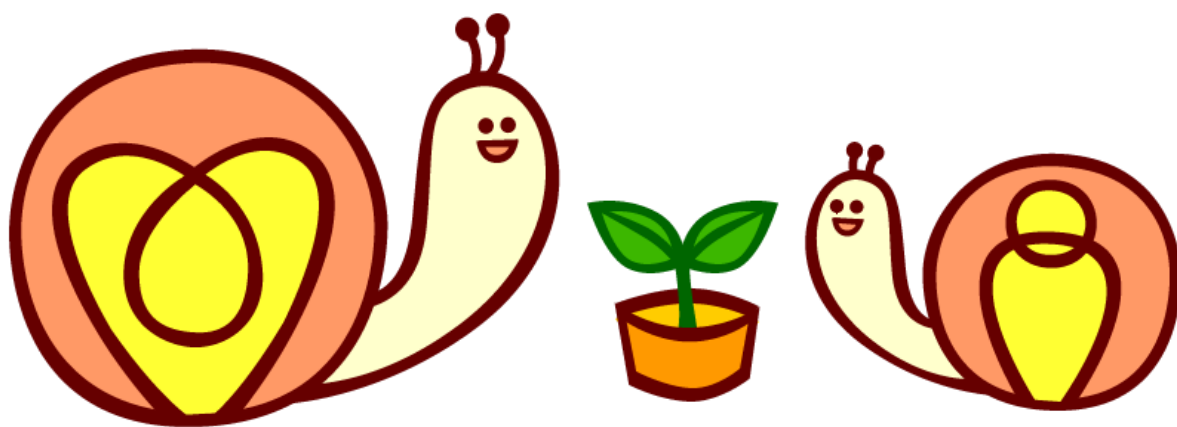


# 第5次南区地域福祉活動計画

## ひまわりプラン5

計画期間：2024年度～2028年度



まいまい

南区社協  
シンボルキャラクター

あいあい

社会福祉法人 名古屋市南区社会福祉協議会

## 第5次南区地域福祉活動計画

# 目 次

1	はじめに	・・・1
2	基本理念と基本目標	・・・2
3	第5次南区地域福祉活動計画 体系図	・・・4
4	実施項目	
	No.1 つながりづくりの拠点の整備	・・・5
	No.2 関係機関・団体・企業との連携による社会参加プログラムの開発	・・・6
	No.3 誰でも気軽に集える活動の拠点をつくる	・・・7
	No.4 ボランティア活動等と地域福祉活動の連携を目指す	・・・8
	No.5 福祉に限定しない学区の活動、人材、ニーズの把握	・・・9
	No.6 福祉分野外の既存学区活動（防災他）との連携	・・・10
	No.7 福祉活動推進の人材拡大	・・・11
	資料編	
	・策定委員会設置要綱	・・・12
	・策定委員名簿	・・・14
	・作業部会委員名簿	・・・15

## はじめに

日ごろは、地域福祉の推進にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。平成16年度に初めて策定した地域福祉活動計画も、早いもので第5次計画となりました。

今回の計画は、地域福祉活動の在り方に大きな変革を余儀なくさせた新型コロナウイルス感染症蔓延後に策定する初の活動計画となります。

コロナ禍の中では地域福祉活動の要である人と人のふれあいが制限され、思うように事業が推進できない中、それぞれの活動主体が創意工夫をして地域福祉活動を継続していただいております、社会福祉協議会としてもそのような取り組みを支援すべく「第4次南区地域福祉活動計画」の内容の見直しも行いながら推進してまいりました。

今回の第5次計画では、第1次計画から引き継いできた基本理念を踏襲しつつ、基本目標には第4次計画で明らかになった「南区の自慢、宝」である、人々の善意やつながりを活かした三点を据え、それぞれの目標について議論を重ねてまいりました。

これまでの活動計画で取り組んできたことはもちろん、区内で既に行われている様々な取り組みをベースに、あるものを生かした計画としていくことで着実に実現できる計画が策定出来たものと考えております。

最後になりましたが、本計画の策定にあたりまして、ご多忙の中、貴重なご意見・ご提言をいただきました策定委員の皆さま、様々な分野から本計画の策定に参加いただきました作業部会委員の皆さまを始め、ご協力いただきました多くの皆さまに、心からお礼申し上げます。

令和6年6月

社会福祉法人 名古屋市南区社会福祉協議会  
会 長 喜多村 隆



# 基本理念と基本計画

## 基本理念

### 「一人ひとりが尊重され 必要とされる南区の実現に向けて」

この基本理念は、第1次計画からずっと引き継がれてきているものですが、今回の第5次南区地域福祉活動計画策定時においてもこの理念の必要性を改めて感じさせられました。

第4次計画の計画期間内においてはコロナ禍という今までに私たちが経験したことのない状況、すなわち地域福祉活動の基本である人と人とのふれあい、つながりが制限されるという状況に追い込まれました。

南区においてもすべての学区で実施されている「ふれあい給食会」が開催自粛となり、そのほかの推進協事業も中止を余儀なくされ関係性の希薄化が問題となりました。

しかし、南区の各学区推進協の方々の熱意はそれらの困難に負けることなく、様々な工夫を凝らして出来る限り事業を継続させていきました。

例えばサロンが開催できなくてもコミセンまで来ていただき、少しお話をし手土産をもって帰っていただく取り組みや、屋外映画会の開催などコロナ禍の状況に対応した事業を通して、人と人とのふれあい、つながりを維持していこうと努力されていました。

そしてその根底には「一人ひとりがかげがえのない存在であり、互いが互いを必要とし合っている、それらの気持ちにできる限り応えたい」という思いがありました。

そういった皆さまの想いを形にし、実現していくための計画、それが南区地域福祉活動計画であり、さらには新しい局面を迎えた地域福祉活動を通して今後の在り方を考え、実現していく計画でもあります。



## 基本目標

### すべての人が地域や社会とつながり役割が持てる南区にするには

「全ての人が地域や社会とつながり役割が持てる南区を目指す」をテーマに、ひきこもり等、社会的孤立の状況にある方々が地域とつながり、社会参加の第一歩を踏み出すための仕組み等について検討しました。

一人ひとりの特性に合わせオーダーメイドでプログラムを組む拠点の整備や、企業・団体と連携した社会参加の受け皿づくりについて取り組みを進めていきます。

### 区民の善意を活かし皆で支えあえる南区にするには

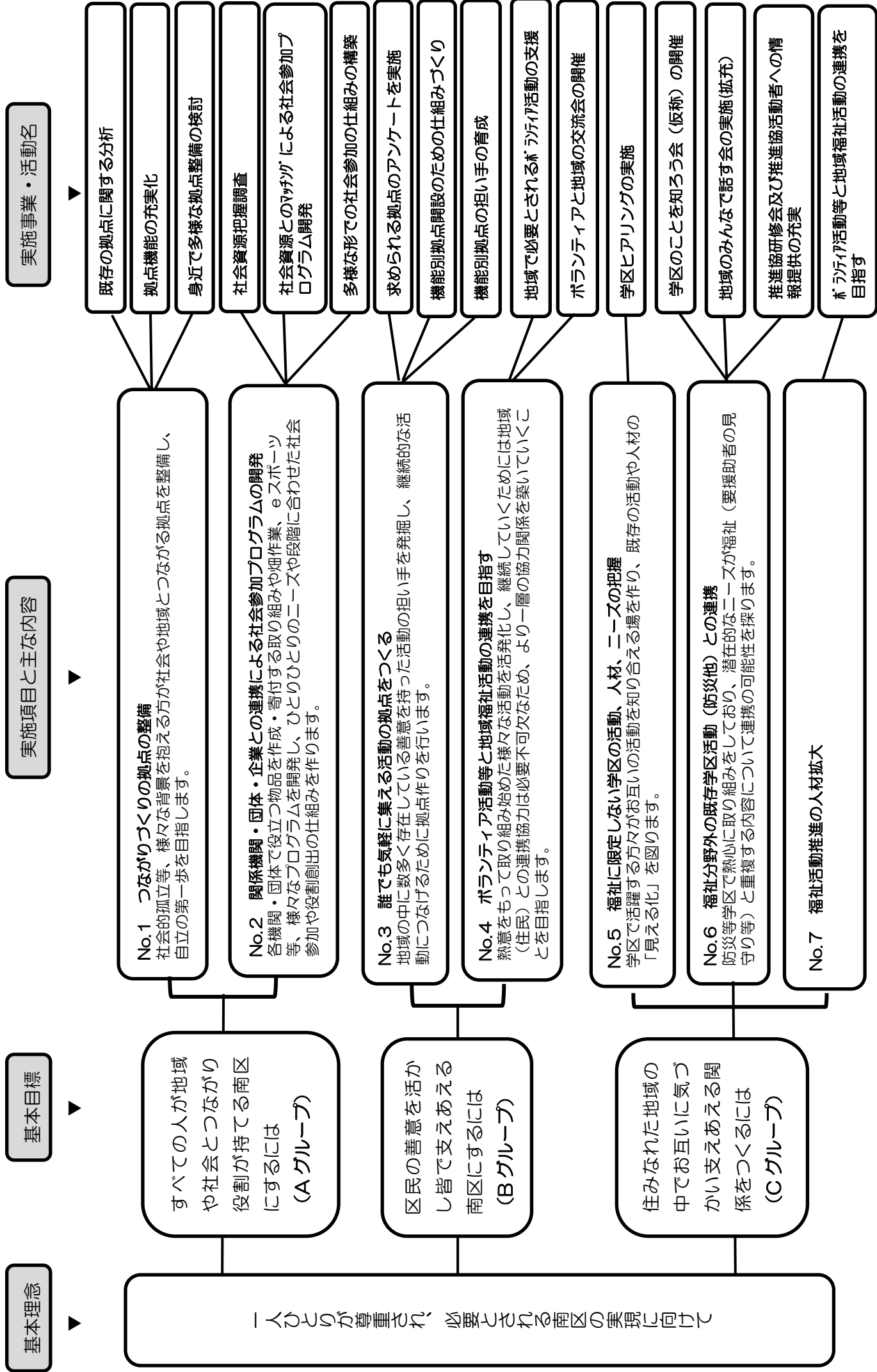
南区には各種サロン、ここバリスポットなど、それぞれの役割、機能を持った拠点が数多く存在します。その強みを生かし、それぞれの拠点の現況調査を行い、機能強化の内容（例えば、集える場所、情報発信、相談受付など）を検討し、働きかけていくことで、地域に気軽に集い・相談・活動できる拠点の増加を目指します。また、各学区地域福祉推進協議会と既存のボランティアグループ、団体が相互に協力し連携できる体制を目指します。

### 住みなれた地域の中でお互いに気づかい支えあえる関係をつくるには

推進協（学区）を中心とした福祉活動の活性化を進めることが地域内のつながり、支えあいを作っていくと考え、どうしたら推進協活動が活発になるのか、地域全体で協力し合って楽しく福祉活動を進めていくにはどうしたらよいかを検討しました。

福祉に限らず、防災・防犯・多文化共生等も含め、学区活動の現状を把握し、学区の強みとなり得る活動や人物を発掘するためヒアリングや懇談会を実施します。

# 第5次南区地域福祉活動計画 体系図



基本理念

基本目標

実施項目と主な内容

実施事業・活動名

一人ひとりが尊重され、必要とされる南区の実現に向けて

すべての人が地域や社会とつながり役割が持てる南区にするには (Aグループ)

区民の善意を活かし皆で支えあえる南区にするには (Bグループ)

住みなれた地域の中でお互いに気づかい支えあえる関係をつくるには (Cグループ)

**No.1 つながりづくりの拠点の整備**  
社会的孤立等、様々な背景を抱える方が社会や地域とつながる拠点を整備し、自立の第一歩を目指します。

**No.2 関係機関・団体・企業との連携による社会参加プログラムの開発**  
各機関・団体に役立つ物品を作成・寄付する取り組みや畑作業、eスポーツ等、様々なプログラムを開発し、ひとりひとりのニーズや段階に合わせた社会参加や役割創出の仕組みを作ります。

**No.3 誰でも気軽に集える活動の拠点を**  
地域の中に数多く存在している善意を持った活動の担い手を発掘し、継続的な活動につなげるために拠点作りを行います。

**No.4 ボランティア活動等と地域福祉活動の連携を目指す**  
熱意をもって取り組み始めた様々な活動を活発化し、継続していくためには地域(住民)との連携協力は必要不可欠なため、より一層の協力関係を築いていくことを目指します。

**No.5 福祉に限定しない学区の活動、人材、ニーズの把握**  
学区で活躍する方々がお互いの活動を知り合える場を作り、既存の活動や人材の「見える化」を図ります。

**No.6 福祉分野外の既存学区活動 (防災他) との連携**  
防災等学区で熱心に取り組んでおり、潜在的なニーズが福祉(要援助者の見守り等)と重複する内容について連携の可能性を探ります。

**No.7 福祉活動推進の人材拡大**

既存の拠点に関する分析

拠点機能の充実化

身近で多様な拠点整備の検討

社会資源把握調査

社会資源とのマッチングによる社会参加プログラム開発

多様な形での社会参加の仕組みの構築

求められる拠点のアンケートを実施

機能別拠点開設のための仕組みづくり

機能別拠点の担い手の育成

地域で必要とされるボランティア活動の支援

ボランティアと地域の交流会の開催

学区ヒアリングの実施

学区のことを知ろう会 (仮称) の開催

地域のみんなまで話す会の実施 (拡充)

推進協研修会及び推進協活動者への情報提供の充実

ボランティア活動等と地域福祉活動の連携を目指す